



平成28年 3月24日

各 位

会社名 株式会社ダスキン  
 代表者名 代表取締役社長 山村 輝治  
 (コード番号: 4665 東証第一部)  
 問合せ先 専務取締役 鶴見 明久  
 電話 06-6821-5071

### 中期経営方針（数値目標）修正に関するお知らせ

当社は、平成28年3月24日開催の取締役会において、平成27年3月26日付で公表いたしました中期経営方針最終年度（平成30年3月期）の数値目標を修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 修正の内容

	修正前 (平成27年3月26日公表)	修正後	増減	
			増減額	増減率
連結売上高	1,850億円	1,730億円	▲120億円	▲6.5%
連結営業利益	75億円	60億円	▲15億円	▲20.0%

#### 2. 修正の理由

当平成28年3月期（以下、当期）に始動した「中期経営方針2015」は、今後も持続的に成長し続ける企業となるために、展開するすべての事業が一体となってお客様に対してホスピタリティ溢れる対応ができる「ONE DUSKIN」を目指す第1フェーズと位置付けており、近年低迷してきた業績の回復を成し遂げ、再び成長軌道に戻すことを主眼に置いた計画であります。着手から約1年が経過し、着実に成果が出始めている取り組みがある一方で、既に当初の想定から著しく乖離している状況となっているものもあり、当期第3四半期までの業績をベースに、定量（数値）目標を下方修正することとしたものです。

クリーン・ケアグループは、会員サイト「DDuet」の機能強化や衛生管理の高度な知識を有する人材「ハイジーンマスター」の育成等、主力のダストコントロール事業は概ね計画どおり進捗しており、加えて、レントオール事業、ユニフォームサービス事業の好調で、当期第3四半期までは計画を上回って推移しております。本中期経営方針においても計画どおりの進捗を見込み、目標の達成は可能と想定しております。

フードグループは、「パイフェイス」の新規オープンや「ザ・シフォン&スプーン」のフランチャイズ展開の開始等、ミスタードーナツに続く第2の柱となる事業の開発が順調に進んでいる一方、ブランド再構築を目指すミスタードーナツが、コンビニエンスストア他、スイーツ市場への新規参入が相次ぐ中で、ショップへの来店を誘因できる話題作りと効果的なプロモーションが不足し、開発した商品が期待した効果を得られず足元の業績はお客様売上を大きく落とす状況となっております。更に、立地環境やお客様ニーズを意識した新しいコンセプトショップへの改装の進捗も遅れ気味の状況の中、本中期経営方針の目標達成は困難と判断したものです。

従いまして、目標数値につきましては、連結売上高はミスタードーナツの未達想定分を下方修正することとし、利益面については、その影響に加えて、現下の金利低下により退職給付債務計算上の割引率を変更することに伴う数理計算上の差異発生の影響（約10億円）を織り込み下方修正いたします。

大変厳しい状況は続きますが、現在の基本戦略、重点施策を着実に実行することが中長期的企業価値向上につながるものと確信しております。引き続き各施策の更なる強化とスピードアップを図り、本件修正目標の達成に向けて最大限取り組む所存です。

なお、平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年3月期決算短信公表時に開示する予定です。

以上

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

株式会社ダスキン 広報部 電話06-6821-5006